

経済的、家庭的事情を抱える子どもへの支援施設「子ども第三の居場所」らしいしきち（仮称）が白石市東町に開設されることが決まった。市と施設を運営するNPO法人「アスイク」（仙台市宮城野区）が協定を結び、来年3月の開設を目指す。

「第三の居場所」は、家庭でも学校でもない居場所を提供する取り組みで、日本財団が2016年から始め、全国に168か所ある。県内では岩沼市に次いで2か所目とな

## 白石に「子どもの居場所」

市、NPOと協定 来年3月開設へ

る。

平日は毎日開所し、食事を提供したり、歯磨きや入浴の生活習慣を指導したりする。親が病気の家庭や不登校の児童が対象で、定員は市内在住の20人。利用は無料だが、市や学校の紹介が必要。

山田裕一市長は「子どもたちが安心して学習、生活ができることを期待している。笑顔あふれる家庭を増やせるように連携していきたい」としている。